

⑭連続鋳片加熱炉

①実 願 昭49-116794

②出 願 昭49(1974)9月30日

③考 案 者 和氣完治

広島市観音新町1の20の26

④出 願 人 三菱重工業株式会社

東京都千代田区丸の内2の5の1

⑤復代理人 弁理士 伊藤輝

⑯実用新案登録請求の範囲

耐火材よりなる筒状炉体7と、同炉体7に装着された多数の加熱バーナ8よりなる連続鋳片加熱炉において、上記筒状炉体7の中心部を通る鋳片6の各コーナ部に対応する炉体7の炉壁に、その

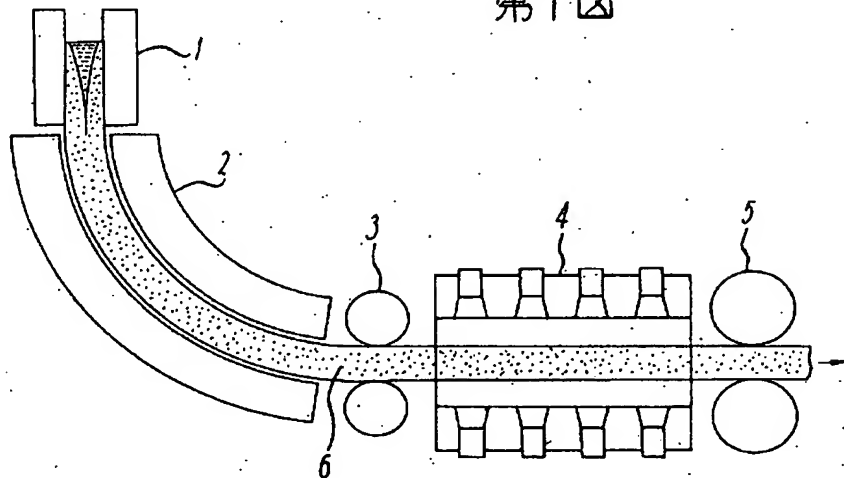
長手方向に沿って拋物面またはこれに近似の曲面9をそれぞれ形成し、それら各曲面9の焦点10を鋳片のコーナ部に合致させるとともに、それら各曲面9の頂点に、上記加熱バーナ8のバーナノズルを開口せしめたことを特徴とする連続鋳片加熱炉。

図面の簡単な説明

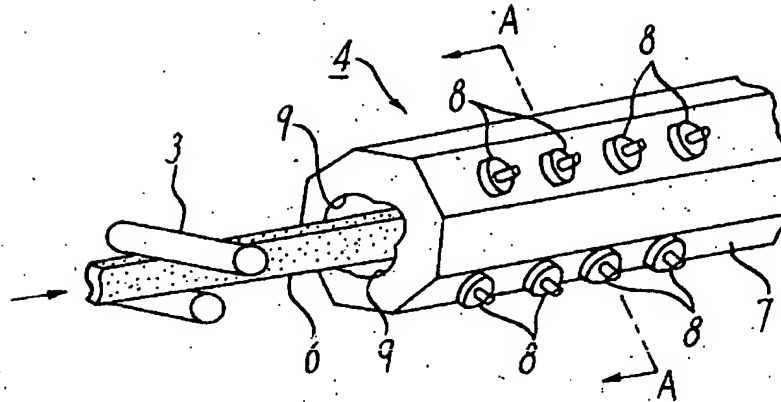
図面は本考案の一実施例を示し、第1図は、本考案加熱炉の設置様式説明図、第2図は本考案加熱炉の一部の斜視図、第3図は第2図のA-A線断面図である。

6……連続鋳片、7……筒状炉体、8……加熱バーナ、9……拋物面またはこれに近似な曲面、10……焦点(鋳片のコーナ部)。

第1図



第2図



第3図

